



やさしさあふれる さくら学校

さくらだより

新潟市立内野小学校

令和6年7月号



課題解決までの過程を体験することを大切に

校長 山田 里恵子

6月に6年生が修学旅行、7月に5年生が自然教室に行きました。保護者ボランティアの皆様から活動を見守っていただき、実りのある宿泊体験教室となりました。子どもたちの活躍の姿から、改めて、宿泊体験教室が子どもにとって大切な場であることを実感しました。

宿泊体験教室のねらいは、文部科学省の学習指導要領で次のように示されています。

集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活のあり方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと

宿泊体験教室のねらいは、「よりよい人間関係づくり」と集団生活をする上での「ルールやマナーの習得」です。普段慣れ親しんだ環境と違う環境下で、体験、生活します。普段仲のよい友達同士でも、時には意見が食い違うかもしれません。今まで経験したことのない事態が起こる可能性もあります。今まで誰も経験したことがなければ、どうやって乗り切れればよいか、みんなでアイデアを出し合い、よりよい方策を考え、その場に応じた適切な役割分担を決める。解決に向け、協力しながら課題を乗り切る。課題解決までの過程を体験することが、これから子どもたちの成長にとって、とても大切です。

5年生も6年生も、宿泊体験教室に向け、事前準備を丁寧に行いました。一人一人のやりたいことや考えが違うので、「どんな宿泊体験教室にしたいか」を子どもたちが相談して、目標を設定しました。学年全体で創意工夫を凝らして計画するのは困難です。目標を達成するために、役割分担をし、個々の仕事を明確にし、場面に応じてリーダーシップを発揮し、時にはフォロアーとなって活動できるようにしました。

宿泊体験教室後の振り返りでは、「力を合わせること」「ルールやマナー」の大切さを実感した記述が多くありました。また、友達のよさだけでなく、自分の新たな一面を発見した子どもたちも多くいました。人間関係をより多面的な角度から見つめるよい機会とし、いろいろな人と、協働・分担して課題を解決していく力を育みたいと考えています。

<会津若松の修学旅行(6年生)>

6月27日(木)28日(金)に、会津若松に行きました。昨年度までは、佐渡でした。変更した理由の一つは、班別活動の充実です。佐渡でも、もちろん歴史や文化を学んだり、体験したりすることができますが、会津若松は周遊の路線バスがあり、子どもたちが少人数の班で計画を立て、バスを活用しながら体験や見学をすることができます。子どもたちは、学校で、地図やパンフレット、インターネットを活用し、班ごとに、行きたい場所、ルート、料金等を考えて、計画を立てました。体験場所は、時間が決まっている場合が多いので、まず、体験の予約を取る必要がありました。子どもたちが事前連絡をし、予約をしました。電話や交渉の仕方とてもよい学習になりました。予約が取れた時の子どもたちの喜ぶ姿が印象に残りました。

当日は、30班に分かれ、鶴ヶ城会館を出発しました。修学旅行シーズンということもあり、乗客が多くてバスに乗れない、バスが遅れるなど、計画通りにいかない場面もありましたが、その都度班で相談したり、本部と相談したり、保護者ボランティアの皆様



に助けをいただいたりしながら活動することができました。他校の修学旅行の子どもたちが目的地に向かうバスが分からず困っていたので、「自分達も行くので、一緒に行きましょう」と声を掛けた班もあったそうです。

保護者ボランティアの方々からも、「予定通りに行かなくても、班で相談し、乗り切る姿が見られた」「困ったときに、大人に相談し、力強く解決していた」などの声をいただきました。子どもの姿から、修学旅行の目指す姿を見ていただき、ありがたく思っています。

「礼儀」「自主的」「仲間を大切に」という目標を立て、修学旅行で学んだこと、成長できたこと、これからの課題は何かを子ども自身が振り返り、考えて行動できるよう励ましていきたいと思えます。

<胎内の自然教室(5年生)>

7月17日(水)18日(木)に、新潟県少年自然の家で自然教室を行いました。「いつでも自信をもって」「仲間と協力」「最後まであきらめない」を目標に、自分たちの力で進めていけるよう、準備を進めました。

野外炊事では、野菜を切り、米を研ぎ、火をおこすなど、慣れない作業でしたが、班で役割分担し、協力しながら意欲的に取り組みました。保護者ボランティアの皆様のご協力で、おいしいカレーが出来上がりました。

夜は、雨のため、キャンドルファイヤーになりましたが、ダンスやゲームで親睦を深め、セレモニーで厳かに1日目を振り返り、仲間との絆を深めました。

2日目のオリエンテーリング、カヌー、グラウンドゴルフでは、班で力を合わせ、課題に取り組みました。到着式では代表の子どもが、「オリエンテーリングで迷ったけど、班で協力し、ポイントを探すことができた。協力の大切さを学んだ。これからの学級での係の仕事や委員会活動で生かしたい」と話してくれました。かわりを通して、やり遂げた喜びを実感した2日間となりました。

<よりよい学校生活に向け委員会活動を頑張っています>

総務委員会とチャレンジ委員会が共同企画して、「いじめゼロ集会」を行いました。体育館に全校集まって行う予定でしたが、暑さのため、各教室でテレビ放送としました。普段の生活の中から、仲良く生活するため、適切な行動を選択するクイズを行い、みんなで考えました。それを受け、チャレンジ委員会から「相手を思いやり優しい言葉遣いをしよう」という行動目標が提示されました。この目標に向かって、各学級での「行動チャート」に取り組んでいます。

また、保健委員会は、夏休みに向けて、清掃の時間を活用し、なかよし班でラジオ体操練習会を行いました。高学年から教わる1年生の姿も見られました。後日、1年生の希望者が集まり、多目的室で練習会も行われました。

よりよい学校生活のため、委員会の主体的な活動が充実してきています。今後も、自分達の学校をよりよいものにする気持ちを大切にしていきたいです。

<1年生のGIGA開きを6年生が手伝いました>

1年生のタブレット端末の活用を始める「GIGA開き」を、6年生が手伝いました。6年生は、確認書の記載から、タブレットの操作の仕方まで、担任の説明に合わせ、1年生が理解しているかを確認しながら、指差し等でわかりやすく教えていました。1年生も担任や6年生の話をよく聞き取り組みました。円滑にGIGA開きを進めることができたし、1年生と6年生の絆も深まりました。

